

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成24年5月17日(2012.5.17)

【公表番号】特表2011-515090(P2011-515090A)

【公表日】平成23年5月19日(2011.5.19)

【年通号数】公開・登録公報2011-020

【出願番号】特願2011-501008(P2011-501008)

【国際特許分類】

A 0 1 K 15/02 (2006.01)

A 0 1 K 27/00 (2006.01)

【F I】

A 0 1 K 15/02

A 0 1 K 27/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月21日(2012.3.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

犬の訓練用首輪であって、
一緒に連結されて、反対端を有する連結鎖を形成する複数の着脱可能な相互連結具と；
前記連結鎖の前記反対端の間に結合されて首輪を形成する張力部材と；
前記張力部材と前記連結鎖の反対端の少なくとも一方との間に着脱可能に連結される着脱可能な締結具と；
を具備しており、

前記相互連結具のそれぞれが内側及び外側を有し、前記内側が前記内側から離れるよう延びる1対のV形突起部を有し；

複数のV形突起対を有する前記連結鎖が、前記内側から延びるよう間隔を空けた関係で配置される2列のリンクを形成し；

これによって、前記連結鎖が、前記V形突起部が首に向けた状態で犬の首の周りに配置され、前記着脱可能な締結具によって前記張力部材に連結されて、装着した場合に前記張力部材の調整により身体的矯正を前記首に与えるように、前記首輪を形成することを特徴とする犬の訓練用首輪。

【請求項2】

前記張力部材に結合された擦れ防止器具を有しており、
これによって、前記擦れ防止器具が、前記犬の首に付けた場合に、前記首輪の意図しない捻れを戻すことを特徴とする請求項1に記載の首輪。

【請求項3】

前記擦れ防止器具及び前記着脱可能な締結具が、一体的に形成されていることを特徴とする請求項1に記載の首輪。

【請求項4】

前記張力部材が、リングと、前記着脱可能な締結具及び前記連結鎖の少なくとも一端に移動可能に連結されたロープの輪と、
を有しており、

前記ロープが、前記リングに加わる引張力により前記リング、前記着脱可能な締結具及

び前記連結鎖の少なくとも一端の間に張力が伝わるように、前記リングに連結された端部を有しており、前記少なくとも一端を引き付ける力を前記ロープを通して前記着脱可能な締結具に加えて前記身体的矯正を引き起こすことを特徴とする請求項 1 に記載の首輪。

【請求項 5】

前記連結具のそれぞれが、第 1 及び第 2 の端部間で本体フレームの対向側部から且つ前記内側から離れるよう延びる間隔を空けた 2 つの V 形突起部を支持する厚形の本体フレームによって結合される第 1 の端部及び第 2 の端部を有することを特徴とする請求項 1 に記載の首輪。

【請求項 6】

各連結具の前記第 1 の端部が、前記本体フレームから離れるよう延びる 2 つのアームであって、それぞれ、金属ピンの負荷を支持するための広がった丸い自由端を有するアームと；

前記広がった丸い自由端の間を延びて、前記アームの前記広がった丸い自由端の中央に位置する開口部を通して摩擦嵌合により前記自由端に結合する金属ピンコネクタと；を有することを特徴とする請求項 5 に記載の首輪。

【請求項 7】

各連結具の前記第 2 の端部が、別の連結具の補完的な第 1 の端部のピンを受容するためのフック突起部を有しており、

前記突起部が、前記突起部の外周面の周りを延びる互いに間隔を空けた関係のリップを有しており、前記リップが、前記フックの外周面の周りを延びることを特徴とする請求項 6 に記載の首輪。

【請求項 8】

前記フック突起部が、前記第 1 の端部の前記アーム間を摺動するよう通る幅を有し、溝部がヒンジを形成する場合に前記第 1 の端部のピンが通り得る溝部を有することを特徴とする請求項 7 に記載の首輪。

【請求項 9】

前記溝部の入口部が、前記溝部から前記ピンが予期せずに抜け出るのを防止するようわずかに狭いことを特徴とする請求項 8 に記載の首輪。

【請求項 10】

前記連結鎖の前記反対端がそれぞれ、前記張力部材及び前記着脱可能な締結具への連結を強化するための端部連結具を有することを特徴とする請求項 5 に記載の首輪。

【請求項 11】

前記端部連結具のそれぞれが、前記第 1 及び第 2 の端部の間で、本体フレームの対向側部から且つ前記内側から離れるよう延びる、間隔を空けた 2 つの V 形突起部を支持する厚形の本体フレームに結合される第 1 の端部及び第 2 の端部の少なくとも一方を有することを特徴とする請求項 10 に記載の首輪。

【請求項 12】

さらに、前記端部連結具のそれぞれが、前記厚形の本体フレームに結合される張力部材繋ぎ部と、反対側の前記第 1 の端部及び第 2 の端部の少なくとも一方とを有することを特徴とする請求項 11 に記載の首輪。

【請求項 13】

前記ヒンジにより、前記ピンを中心とした前記連結具の回転が可能となり、

前記突起部が、回転の際の突起部の先端部の接触を防止するための止め部を有することを特徴とする請求項 8 に記載の首輪。

【請求項 14】

前記突起部が、丸い先端部を有することを特徴とする請求項 1 に記載の首輪。

【請求項 15】

犬の訓練用首輪であって、

一緒に連結されて、反対端を有する連結鎖を形成する複数の着脱可能な相互連結具と；

前記連結鎖の前記反対端の間に結合されて首輪を形成する張力部材と；

前記張力部材と前記連結鎖の反対端の少なくとも一方との間で着脱可能に連結される着脱可能な締結具と；

を具備しており、

前記相互連結具のそれぞれが内側及び外側を有し、前記内側が前記内側から離れるよう延びる1対のV形突起部を有し；

複数のV形突起対を有する前記連結鎖が、前記内側から延びるよう間隔を空けた関係で配置される2列のリンクを形成し；

これによって、前記連結鎖が、前記V形突起部が首に向いた状態で犬の首の周りに配置され、前記着脱可能な締結具によって前記張力部材に連結されて、装着した場合に前記張力部材の調整により身体的矯正を前記首に与えるように、前記首輪を形成し、

前記犬の首の大きさに応じて、相互連結具の数によって前記複数の着脱可能な相互連結具を調整することができ、

前記犬の首の大きさが変わる場合に、前記相互連結具の数を調整して新たな首の大きさに対応し、

擦れ防止器具が前記張力部材に結合され、これによって前記擦れ防止器具が、前記犬の首に付けた場合に、前記首輪の意図しない捻れを戻し、

前記張力部材が、リングと、前記着脱可能な締結具及び前記連結鎖の少なくとも一端に移動可能に連結されたロープの輪と、を有しており、前記ロープが、前記リングに加わる引張力により前記リング、前記着脱可能な締結具及び前記連結鎖の少なくとも一端の間に張力が伝わるように、前記リングに連結された端部を有しており、前記少なくとも一端を引き付ける力を前記ロープを通して前記着脱可能な締結具に加えて前記身体的矯正を引き起こし、

前記連結具のそれぞれが、第1及び第2の端部間で本体フレームの対向側部から且つ前記内側から離れるよう延びる間隔を空けた2つのV形突起部を支持する厚形の本体フレームに結合される第1の端部及び第2の端部を有しており、

各連結具の前記第1の端部が、前記本体フレームから離れるよう延びる2つのアームを有し、各アームが、金属ピンの負荷を支持するための広がった丸い自由端を有しており、

金属ピンコネクタが、前記広がった丸い自由端の間を延びており、前記アームの前記広がった丸い自由端の中央に位置する開口部を通して摩擦嵌合により前記自由端に結合し、

各連結具の前記第2の端部が、別の連結具の補完的な第1の端部のピンを受容するためのフック突起部を有しており、

前記突起部が、前記突起部の外周面の周りを延びる互いに間隔を空けた関係のリップを有しており、前記リップが、前記フックの外周面の周りを延びており、

前記フック突起部が、前記第1の端部の前記アーム間を摺動するよう通る幅を有し、溝部がヒンジを形成する場合に前記第1の端部のピンが通り得る溝部を有しており、

前記溝部の入口部が、前記溝部から前記ピンが予期せずに抜け出るのを防止するようわずかに狭く、

前記連結具が、射出成型されるプラスチックで作製され、前記ピンが、鋼で作製され、

前記連結具の前記外側が、連結具の相互連結に役立つ摘み部を形成するように、凹んだ凹部を有しており、

前記連結鎖の前記反対端がそれぞれ、前記張力部材及び着脱可能な締結具への連結を強化するための端部連結具を有しており、

前記端部連結具のそれぞれが、前記第1及び第2の端部の間で、本体フレームの対向側部から且つ前記内側から離れるよう延びる、間隔を空けた2つのV形突起部を支持する厚形の本体フレームに結合される前記第1の端部及び第2の端部の少なくとも一方を有しており、

前記端部連結具のそれぞれが、さらに、前記厚形の本体フレームに結合される張力部材繋ぎ部と、反対側の前記第1の端部及び第2の端部の少なくとも一方とを有しており、

前記張力部材繋ぎ部が、開口部を有する細長い面を有しており、前記張力部材及び前記着脱可能な締結具の少なくとも一方をそこに通して連結し、

前記端部連結具の前記外面が、連結具の相互連結及び犬の首の周りに前記首輪を結び付けるのに役立つ摘み部を形成するように、細長い楕円形の凹部を有することを特徴とする首輪。